

薬理と治療22年3月号で第1論文を訂正

Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療) vol.50 no.3 2022

【訂正】本誌掲載論文に誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正いたします。(編集部)

● vol.49 no.8 2021

■ *Lactobacillus acidophilus* L-92 摂取による健常者の免疫指標と体調変化に関する自覚症状への影響について
—ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験—

・p.1267 左段↑4行目。下線部および表3を追加。

(誤) その他の項目は両群間で差は検出できなかった。

(正) その他の項目は両群間で差は検出できなかった。摂取8週までの累積日数においても、「鼻水」「鼻詰まり」「咳」「喉の違和感」「痰、胸部圧迫感」「声のかれ」「頭がぼーっとする」「関節痛」「めまい、ふらつき」「動悸、息切れ」「なんとなく体調が悪い」「倦怠感」「ストレス」「不眠」「発汗」項目において、プラセボ摂取群と比較してL-92摂取群は有意に症状が緩和した(表3)。

表3 自覚症状の累積日数(摂取8週まで)

項目	試験群	n	スコア	標準偏差	スコア	標準偏差	p値
鼻水	プラセボ	592	5389	411	117	2	<0.001*
	L-92	592	5505	426	54	7	0.20
鼻詰まり	プラセボ	592	5477	399	99	14	0.002*
	L-92	592	5582	338	65	9	2
くしゃみ	プラセボ	592	5686	293	38	7	0.35
	L-92	592	5705	289	35	2	0
咳	プラセボ	592	5654	286	34	8	<0.001*
	L-92	592	5749	197	36	10	0
喉の違和感	プラセボ	592	5487	465	51	9	<0.001*
	L-92	592	5558	367	50	21	6
痰、胸部圧迫感	プラセボ	592	5662	383	80	6	<0.001*
	L-92	592	5739	198	31	19	5
声のかれ	プラセボ	592	5803	180	8	1	<0.001*
	L-92	592	5848	123	22	3	0
頭痛	プラセボ	592	5853	98	30	11	0.04
	L-92	592	5861	96	23	7	5
なんとなく体調が悪い	プラセボ	592	5842	113	31	5	0.040*
	L-92	592	5883	91	14	4	0
発汗	プラセボ	592	5951	31	4	5	0.081
	L-92	592	5923	52	6	5	3
動悸	プラセボ	592	5891	75	21	4	<0.001*
	L-92	592	5974	17	1	0	0
関節不快感	プラセボ	592	5991	70	18	11	2
	L-92	592	5909	61	17	4	1
めまい	プラセボ	592	5913	63	10	6	0.11
	L-92	592	5932	54	3	1	0
疲労感	プラセボ	592	5734	207	44	7	0.15
	L-92	592	5782	170	31	5	3
めまい	プラセボ	592	5849	123	14	5	0.002*
	L-92	592	5807	140	38	5	0
発汗が強い	プラセボ	592	5921	62	6	2	1
	L-92	592	5906	68	15	1	2
めまい	プラセボ	592	5839	28	12	1	0
	L-92	592	5866	18	6	2	0

Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療) vol.50 no.3 2022

試験群	薬剤	592	5902	60	30	0	0	<0.001*
同となく	プラセボ	5992	5796	27	0	1	0	0.020*
	L-92	5992	5844	125	15	6	2	0.011*
自覚の悪い	プラセボ	5992	5764	176	44	4	2	0.011*
	L-92	5992	5818	146	20	6	2	0.011*
ストレス	プラセボ	5992	5783	135	70	4	0	<0.001*
	L-92	5992	5848	121	13	8	2	0.021*
不眠	プラセボ	5992	5803	34	15	0	0	0.021*
	L-92	5992	5918	36	10	6	2	0.021*
発汗	プラセボ	5992	5904	31	5	2	0	<0.001*
	L-92	5992	5981	11	0	0	0	0

数字は累積日数を示す。*両群間に有意差を認めた項目を示す(P<0.05)。

・p.1269 左段↑4行目。下線部を追加。

(誤) pDC 増加傾向においては、自覚症状として鼻詰まりも有意に改善していること、ならびに副交感神経に属する自律神経に対して、同時間に行われたことをあわせて考慮すると、L-92はpDCを増加させることで免疫機能を維持し、自覚症状の緩和に寄与したと考えられた。

(正) pDC 増加傾向においては、自覚症状として鼻詰まりも有意に改善していること、ならびに副交感神経に属する自律神経に対して、同時間に行われたこと、さらには症状緩和効果においても、pDC 増加傾向が観察された期間と同日で自覚症状および自覚症状の軽減が観察されていることをあわせて考慮すると、L-92はpDCを増加させることで免疫機能を維持し、自覚症状の緩和に寄与したと考えられた。

● vol.44 no.3 2016

■ Effect of partially hydrolyzed guar gum on postprandial hyperglycemia
—A randomized, double-blind, placebo-controlled crossover study—

・p.85 ABSTRACT の Methods の下線部。

(誤) Subjects ingested high-carbohydrate meal (115 g carbohydrate) together with either test supplement containing 4 g PHGG or 3 g dietary fiber or placebo supplement.

(正) Subjects ingested high-carbohydrate meal (115 g carbohydrate) together with either test supplement containing 4 g PHGG, or 3 g dietary fiber (Phosky method), or 3 g of dietary fiber (ADAC assessment of gastrointestinal method) or placebo supplement.

・p.87 左段↑3行目の下線部。

(誤) In the present study, PHGG 4 g, Semimixing 3 g dietary fiber, and dextrin 4 g were chosen as the PHGG and placebo supplement, respectively.

(正) In the present study, PHGG 4 g (equivalent to 3 g of dietary fiber based on Phosky assessment method) or 3 g of dietary fiber based on ADAC assessment of gastrointestinal method and dextrin 4 g were chosen as the PHGG and placebo supplement, respectively.

● vol.50 no.2 2022

■ 日本薬学会20年の争い—2015年以降の活動を中心に—

・p.176 表段(文5)

(誤) 5) Schulz KF, Altman DG, Moher D, CONSORT Group. CONSORT 2010 statement: updated guidelines for reporting parallel group randomised trials. *BMJ* 2010;340:c332.

(正) 5) Altman DG, Gardner MJ. More informative abstracts. *Ann Intern Med* 1987;107(5):790-4.

Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療) vol.50 no.3 2022

【訂正】本誌掲載論文に誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正いたします。(編集部)

● vol.49 no.8 2021

■ *Lactobacillus acidophilus* L-92 摂取による健常者の免疫指標と体調変化に関する自覚症状への影響について

—ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験—

・p.1267 左段↑4行目。下線部および表3を追加。

(誤) その他の項目は両群間で差は検出できなかった。

(正) その他の項目は両群間で差は検出できなかった。摂取8週までの累積日数においても、「鼻水」「鼻詰まり」「咳」「喉の違和感」「痰、胸部圧迫感」「声のかれ」「頭がぼーっとする」「関節痛」「めまい、ふらつき」「動悸、息切れ」「なんとなく体調が悪い」「倦怠感」「ストレス」「不眠」「発汗」項目において、プラセボ摂取群と比較してL-92摂取群は有意に症状が緩和した(表3)。